



四柱推命による人柄と性情診断

上戸彩 1985/9/14

青年期の性情(独身時)

・青年期は 丙 華美型

本質が太陽の人は、地球を公平に照らす太陽の如く、腹に一物がなく、ズルクやることができません。従ってズルク立ちまわれないので、トラブルを起こし非難をあびることもあるのです。他人から何を言われても心には響かず、命令されるのを嫌いどちらかと言えば自己が中心に世界が動くという面があります。社会に対し自分の存在と価値をアピールしたくてたまらないので、人前に出れるといった日の当たる場所が性格にはあっています。面倒見は良いのですが、自分のペースに周囲を巻き込んでしまい、結果的に周囲が迷惑することもあります。自己が中心になりすぎて、周りの迷惑や心情が分からないワンマンという短所があります。

中年期の性情(社会のしがらみできた時)

・中高年期は 乙 慎重型

中高年の本質が草花の人は、この期間、風が吹けばゆらゆらと揺れ動くように、青信号でも、左見て右見てまた左見て渡るような慎重さが身についています。他人に気を使う神経質な面もあります。優しく温和で心に害を持たないので人には安心感を与える特徴があり、人脈もできます。しかし、自分から他人に対し強烈な影響を与えることはありません。この時期は、何かを思いついても、すぐには絶対行動せず、時が熟すまでじっと待ちましょう。経営的にも、仕事内容的にも安定した職場の方が良い時期です。もし、リストラなどが頻繁に行われる会社であれば、生きた心地がしないでしょう。

老年期の性情(リタイア後の人生の時)

・老年期は 乙 慎重型

老年期の本質が草花の人は、この期間、風が吹けばゆらゆらと揺れ動くように、青信号でも、左見て右見てまた左見て渡るような慎重さが身についています。若い人や他人に気を使う神経質な面もあります。優しく温和で心に害を持たないので人には安心感を与える特徴があり、人脈もできます。しかし、自分から他人に対し強烈な影響を与えることはありません。何かを思いついても、すぐには絶対行動せず、時が熟すまでじっと待つような穏やかな時です。もし、経済的に困難な問題があれば、大きな負担を心に与えてしまいます。

健康維持のためには

・丙 華美型

社会から脚光を浴びない立場に追いやられると、嫌がります。しかし、脚光を浴びる立場になると、自分の思っていることが顔に出るタイプですので、戦略的な対応が要求される場面で、トラブルが多発します。腹に一物をもつことができない精神です。もともと、うそが下手ですし、戦略的な思考も得意ではありませんので、そういったことが要求される環境を避けることで、精神の健康を得られます。苦味のある、ふきのとう、にがうりなどの野菜が健康食。これらは、マグネシウムを含んでいるアリカリ性で、心臓の働きを助けます。